

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回御宿町地域公共交通活性化協議会		
開催日時	令和6年6月20日（金）13時30分 開会 14時30分 閉会		
開催場所	御宿町役場 中会議室		
会長氏名	御宿町長 石田義廣		
出席者氏名 (10名)	・御宿町長	石田 義廣	委員
	・小湊鉄道株式会社バス部部长	深山 宏樹	委員
	・住民又は利用者の代表	堀川 賢治	委員
	・国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局首席運輸企画専門官	小林 聡	委員
	・小湊鉄道労働組合書記長	清水 崇志	委員
	・夷隅土木事務所所長	宮下 直也	委員
	・いすみ警察署交通課長	坂井 陽一	委員
	・一般社団法人千葉県タクシー協会理事	松本 眞	委員
	・JR東日本旅客鉄道株式会社勝浦駅長	小口 宗昭	委員
欠席者氏名 (2名)	・千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長	高山 裕明	委員
	・一般社団法人千葉県バス協会専務理事	成田 斉	委員
事務局氏名	御宿町企画財政課	課長 埋田 禎久 課長補佐 柴原 進一 主事補 宮本 未来	
会 議 次 第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題 (1) 御宿町地域公共交通計画の変更について（勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ） (2) フィーダー補助に係る御宿地域公共交通計画等の承認について (3) 令和6年度御宿町地域公共交通活性化協議会予算（案）について (4) 乗合運行（エビアミー号）の利用状況について 4. その他 5. 閉会		

<議事要旨>

事務局（柴原）

令和6年度 第1回御宿町地域公共交通活性化協議会を開催します。

令和6年度のはじめの会議です。委員の変更がありましたので、名簿上段から順にご紹介します。（紹介）

はじめに、石田会長よりご挨拶申し上げます。

石田会長

本日は、第1回御宿町地域公共交通活性化協議会にご出席いただきありがとうございます。

本日の議題は『地域公共交通計画の変更』と、『フィーダー補助に係る地域公共交通計画の承認』、また『令和6年度の本協議会予算案』と『エビアミー号の利用状況について』の2つの議題となっております。

御宿町地域公共交通計画は、昨年度に策定したところですが、今回、本計画に勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れに係る内容を追加しました。本年10月からの運用開始に向けて勝浦市と連携を図りながら取り組んでまいりますのでご審議のほどをよろしくお願いいたします。

事務局（柴原）

ありがとうございました。本日の会議は委員の半数の出席がありますので成立しております。

資料は、事前に配布しているとおりでありますが、不足がありますでしょうか。

また、議題（4）の乗合運行（エビアミー号）の利用状況について（資料4）はお手元にお配りしています。よろしくお願いいたします。

それでは、交通会議の運営は、会長が議長でございます。これより進行は会長にいたします。よろしくお願いいたします。

石田会長

議題に移ります前に、本日は『勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ』についての内容がありますので、勝浦市企画課の企画課長青山様、政策推進係係長忍足様、政策推進係鈴木様にご出席いただいております。また、小湊鉄道モビリティ事業推進部バス路線マネジメント課の横山様にご出席いただいております。

石田会長

それでは、議題（1）『御宿町地域公共交通計画の変更（勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ）』について事務局から説明をお願いします。

事務局（柴原）

それでは、資料1をご覧ください。

御宿町地域公共交通計画の変更について（勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ）について説明します。

昨年度から継続協議しています内容ですが、委員の変更もありましたので改めて事業の概要をご説明します。

現在、御宿-勝浦間は、小湊バスが運行していますが、利用者数の伸び悩み等に

より運行のスリム化が検討されていきました。本線は、御宿と勝浦間をつなぐ生活圏を一体とする重要な路線であり、路線バスの廃止は、地域一帯に大きな影響を与えることから、勝浦市のデマンドタクシーを御宿町内に乗り入れていただき対応することにより交通不便地域の解消を図るものです。

運用は、御宿町内にある10か所の路線バスの乗降場所から勝浦デマンドタクシーに乗って勝浦市内にある共通乗降場所30か所にて乗降できるというものです。

現状の路線バスは1日3便ですが、勝浦デマンドタクシーの乗り入れにより1日6便と利便性が向上します。

勝浦デマンドタクシーが乗降できる御宿町内10か所の具体的な場所は、資料中段に記載の場所で、勝浦市内に設定した共通乗降場所は勝浦駅や塩田病院、ベイシアなど30箇所となっています。

また、運行までの間に勝浦市と調整を要する事項を「課題・検討事項」としてまとめました。

御宿町の費用負担は、全体の経費に対し、全体利用者数と御宿の利用者数（実績）の割合分を乗じた計算方法で算出することとして勝浦市と検討を進めています。御宿からの利用者は1日6人程度で推移すると見込んでいます。

次に予約の方法ですが、1回の予約でエビアミー号と勝浦デマンドタクシーそれぞれの予約ができる方法を勝浦市と検討しています。

また、エビアミー号と勝浦デマンドタクシーそれぞれを利用する場合、双方ともにデマンドという特性から、どうしても乗り継ぎに時間差が生じます。できる限りスムーズに乗り継ぎができるようにしたいと考えていますが、利用者にはご理解をいただいた上でご利用いただきたいと思えます。

そのためにも、しっかりと周知を図っていきます。

資料1-2をご覧ください。

御宿-勝浦間における勝浦デマンドタクシーの全体位置図です。赤色点線で囲んだ②の御宿町から①の勝浦市内の位置関係を示したものです。部原ファッションセンターしまむらも含まれます。

資料1-3は、御宿町内10か所の共通乗降場所の位置図です。

資料1-4は、勝浦市内で乗降できる30か所の位置図です。表では赤く表示しています。

資料1-5は、どのように予約したらいいか、利用者に案内するために作成したものです。

いろいろなパターンが想定されますが、パターン1は、エビアミー号と勝浦デマンドタクシーの両方を予約する場合を想定したものです。

資料1-6は、御宿町地域公共交通計画の変更部分（抜粋）です。変更部分は、勝浦デマンドタクシーの内容を追加するもので赤字で表示しています。

47Pをご覧ください。勝浦市デマンドタクシーは、御宿町的生活圏を一体とする勝浦市への移動手段を確保するため、勝浦市のデマンドタクシーを御宿町内に乗り入れるもので、公共交通不便地域の解消を図るものです。高齢者の買い物や

通院のほか、広域交通への接続点につなげ、多様な目的に対応するため、地域内交通としての役割を担うこととして整理しています。

4 8 P は、ネットワークイメージを勝浦市デマンドタクシーを含めた形で表示しました。

4 9 P は、勝浦デマンドの役割を地域内交通として整理し追加しました。

5 1 P は、評価指標の表で、1日6人程度の利用を見込み目標値を設定しました。

5 2 P は、計画目標を踏まえた実施事業ということで、目標①の利用ニーズに即した利便性の高い交通ネットワークの形成の（事業3）に、②勝浦市デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れを追加しました。

5 4 P では、事業名欄（事業3）に、勝浦デマンドタクシーの御宿町内への乗り入れを追加しました。

フィーダー補助に関する内容もしっかりと位置付けを図り、地域公共交通計画と補助制度との連動化を図っています。

議題1に係る説明は以上です。

石田会長

ありがとうございました。このことについて何か質問等ございますか。

横山様（小湊鉄道）

勝浦のデマンドと御宿のエビアミー号を利用したいときの予約の流れについて説明がありましたが、エビアミー号と勝浦のデマンドを同時に予約するという認識ですか？

事務局（柴原）

そのような方法を想定しています。

横山様（小湊鉄道）

勝浦デマンドタクシーはこれから新しい予約方法、システムでの運行を検討しています。もし同時に行う場合は専用の人員を置くことも必要になる。

事務局（柴原）

現在、勝浦デマンドタクシーと御宿エビアミー号の2つの電話番号から予約をしており、勝浦からかける電話番号も御宿からかける電話番号もどちらも同じところに繋がるはずで、同時予約は可能だと考えています。

横山様（小湊鉄道）

勝浦デマンドタクシーの御宿乗り入れを導入した際に、御宿町民の方に勝浦デマンドタクシーをエビアミー号と同じものだと勘違いされる可能性があります。

例えば、御宿で購入した回数券を勝浦で使ったり、勝浦で購入したタクシー券を御宿で使おうとする人が出てくることも想定できます。利用者はもちろん現場も混乱しないよう周知は十分行ってもらいたい。

事務局（柴原）

もちろん周知は十分に行いたいと思います。

堀川委員

エビアミー号の予約でも面倒だという声もあります。さきほどもお話がありましたが、2つの予約となると混乱を招く恐れがあります。

予約もしやすくなれば利用者は増えると思います。

石田会長

はじめからパーフェクトに運用できればいいですが、運用していく中で改善していき、よりよくできればいいと思います。利用しやすいよう予約はわかりやすく、簡単にできるよう検討をお願いします。

他にありますか。ないようですので、議題1はご承認いただきました。

続きまして、議題2のフィーダー補助に係る御宿町地域公共交通計画等の承認について 事務局から説明をお願いします。

事務局（柴原）

議題（2）フィーダー補助に係る御宿町地域公共交通計画等の承認について、資料1-6をご覧ください。

国のフィーダー補助に係る御宿町地域公共交通計画等の承認についてですが、令和2年11月の「地域公共交通計画の活性化及び再生に関する法律」の改正と合わせるかたちで、地域公共交通計画の作成及び計画における補助系統の位置づけの補助要件化が行われました。（計画制度と補助制度の連動化）

そのようなことから、御宿町の地域公共交通計画（本体）の54P「エビアミー号の利用促進・サービスの強化」の項目に、フィーダー補助申請に対応した内容を盛り込んでいます。

また、地域公共交通計画に位置付けた内容以外で、補助申請に必要な項目は資料2-1から資料2-5までの御宿町地域公共交通計画（別紙）にて整理しています。

資料2-1の事業の目的・必要性、定量的な目標・効果からはじまり、資料2-2、2-3は事業の概要や運行予定者、地域の概要を。2-4、2-5は協議会の開催状況や利用者の意見の反映状況を整理しています。内容項目は、これまで申請してきたフィーダー系統と同様であります。

以上で説明を終わります。

石田会長

ありがとうございました。

このことについて、委員の皆様なにかございますか？

石田会長

まとめますと、既にある地域公共交通計画に勝浦デマンドタクシーの内容を追加したということによろしいですか。

事務局（柴原）

はい

石田会長

その他に何かございますか。
ないようですので、議題（２）『フィーダー補助に係る御宿町地域公共交通計画等』についてはご承認いただきました。

続きまして、議題（３）の令和６年度御宿町地域公共交通活性化協議会予算（案）について事務局から説明をお願いします。

事務局（柴原）

お手元の資料３をご覧ください。予算（案）と関連して事業計画（案）からご説明します。会議の開催日は、本日６月、９月、１月を予定しています。

１０月開始予定の勝浦のデマンドタクシーの御宿町内への乗り入れ前の９月に実施するほか、令和７年１月の開催を予定しています。

裏面の資料３-１をご覧ください。

今年度の協議会予算は、エビアミー号の運行に係るフィーダー系統確保維持事業関連の収支となっております。以上で説明を終わります。

石田会長

この件につきまして、何かご質問ございますか。

ないようですので、議題３はご承認いただきました。

続きまして、議題（４）乗合運行（エビアミー号）の利用状況について事務局から説明をお願いします。

事務局（宮本）

資料４-１をご覧ください。

資料４-１は、御宿町乗合運行が開始された時からの人数や運賃収入、そして、R5・R6補助事業期間における月別の利用者数や運賃収入等をまとめたものになります。

一番上の表の期間で比較しても、コロナウイルスが流行し始めたR2・R3年に比べてR4・R5では利用人数及び運賃収入がコロナ流行前へ徐々に戻ってきております。さらに令和５年度は運行開始から初めての利用人数５,０００人越えの記録となりました。

また、今年度の利用者数を比較しても、どの月も昨年度より増えており、総利用者数も大きく伸びることが予想されます。

資料４-２をご覧ください。御宿町乗合運行、通称エビアミー号の令和３年１０月からの月ごとの利用者数及び運賃収入を比較したものになります。国庫補助金の補助年度が１０月から翌９月までとなっていますので、それに合わせて作表しています。

上のグラフの全体の利用者総数を見ますと、どの月も増加傾向にあり、コロナの収束に伴った利用者の増加と考えられます。

下のグラフは先ほどと同期間の運行収入の推移です。グラフの表の額は車内での現金支払分のみとなっています。こちらも利用者の増減にほぼ比例しています。

続きまして、資料4-3をご覧ください。

こちらの表は、令和5年10月からの月別利用者の利用時間別、利用者地域別、目的地別の統計です。

時間別集計では突出して多いところはなく、各時間に利用が分散していることが分かります。

利用者地域別集計では、御宿台地区からの利用が半数以上です。御宿台は、およそ30年前から分譲が開始された地区で、市街地からの距離は1.2kmから2km程度、海拔はおよそ50mです。

次に多いのは上布施地区で、こちらは市街地からの距離は3kmから5kmと比較的遠く、田や畑が広がるのどかな雰囲気の地域で、御宿台や上布施など山側の地域の方が比較的に利用していることがわかります。

目的地別集計では、降車したポイントごとの統計です。自宅はそのとおり自宅で降車、つまり帰宅時ということになります。

それ以外は16か所の共通乗降場所です。自宅以外ですと、御宿駅、旧第2分団消防庫が特に多い状況です。旧第2分団消防庫はスーパーマーケットが近くにあり、利用者の多くがそこでの買い物目的と思われる。それから、御宿郵便局、公民館、役場はその施設の利用目的と思われる。朝市通り、ここは整形外科の付近に位置しており、そこへの通院に利用される方が多いと思われる。

また新たに追加した千葉銀行前、セブンイレブン前、2つの乗降場所ですが、月の終わりごろの追加になってしまったのにも関わらず、3名の利用がありました。生活するうえで利用する施設の前の乗降場所となっているため、今後利用が増えていくことが予想されます。

以上のように、資料4-1から4-3の資料を見ますと、利用者数が増加傾向にあることが分かります。また、今後も目標である1日当たりの利用者15人の達成に向けて、引き続き利便性の向上や、制度の周知に取り組みます。また、利用者の方からのご意見ご要望を参考にしながら、暮らしやすさの向上に努めてまいります。

以上で議題4の説明を終わります。

石田会長

ありがとうございました。

このことについて、委員の皆様なにかございますか。

小林委員

エピアミー号の利用者が多くなっている状況はご説明を受け承知しました。

同じ時間帯で予約が混雑する状況はありますか。例があればご紹介ください。

事務局（柴原）

利用者数は増加しており、時間帯によっては混雑していると伺っています。

特に線路を挟んで海側と山側の予約が重なる時間帯は混雑しているとのこと。これまでは1日の利用者数は多くて15人程度で推移していましたが、最近では20人ちかくになることもあります。

横山様（小湊バス）

ドライバー不足は深刻な状況ですが、土地勘のない人には任せられない事情もあります。より効率的な運行のため、A Iを導入するなど検討してほしい。

石田会長

ほかに何かご質問ございますか。

ないようですので、議題4はご承認いただきました。

続きまして、次第4のその他ですが、これまでの内容を含め何かございますか

事務局（柴原）

次回の会議日程を決めさせていただければと思います。

9月26日（木）13時30分～でいかがでしょうか。

事前にご通知さしあげますが、ご予約いただければと思います。

よろしく申し上げます。

石田会長

以上で協議会は終了します。

円滑なご審議ありがとうございました。